

答弁書第二十三号

内閣参甲第一八七号

昭和二十三年十一月三十日

内閣総理大臣 吉田 茂

参議院議長 松平恒雄殿

参議院議員板野勝次君提出主食配給に関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。

參議院議員板野勝次君提出の主食配給に関する質問に対する答弁書

一、昭和二十四年度における主要食糧の需給推算においては年間を通じて穀類以外の甘藷、馬鈴薯及諸加工品で配給されるものは通三、二八万石であつて年間需要量の六%強であります。

而して甘藷及馬鈴薯を右の如く主食として配給することに依つて需給計画が成立つたのでありまして諸類を主食として扱うことは戦時戦後を通じて継続せられて來た所でありまして諸類を米に換算して配給食糧の中を含め所謂二合七勺の配給となるのであり決して欺瞞ではありません。

なお配給基準量に関する政府の正式発表は米換算の重量建でありまして容量制は一般にわかり易いようにな便宜使用してあるのであります。

二、政府は十二月中に二十日分の米を配給すると云ふ約束は致して居りません。

なお主食の配給が政治的に左右されると云うことは絶対にありません。

三、年間月別の米の配給は可及的平平均化する方針の下に各種の施策は致して居るのであります。昭和二十三年末の実收高も未定であり且つ不足補填の大宗である食糧輸入の期別種類別見透の確定して居りません。爲米の月別配給率を明示する時期に到つて居りませんが本年産米の補正割当の結果から致しますならば年間全國を平均致しますと國內産米の配給し得る数量は飯用需要量に対して約五五%程度と考えられます。

四、昭和二十三年産米の消費者價格の算定に際しては、先づ米、麦、甘藷各々の政府買入價格（農業バリ

タイ指数に基いて算定した生産者価格を基礎として、お説の通り、これに集荷人手数料、倉庫保管料、運送賃、配給手数料等の諸費用と、早場早堀奨励金、食糧管理局経費、農業調整委員会経費等の諸経費を加算して、別表(一)のような精米、精麦、小麦粉、甘藷等の価格を算出し、更にこれまで不年産米及び甘藷を旧価格で配給することによつて政府に生じた欠損額等を見込んで、各品目間に適当な価格比を保つように、十一月以降明年六月迄に配給される予定の各品目の数量によりプール計算して算定したものであります。(別表(二))

なお、右消費者価格に繰込んだ諸経費については慎重に検討を加えたものであつて、この爲に消費者価格が不当に値上りしたとは考えておりません。

プール消費者価格算出表(一九四八年十一月—一九四九年六月)

	算出 価格	一二月—六月		プール 価格
		消費 数量	消費 数量	
精 米	一〇 疋	三五五・二九 _四	二六、八〇〇 _{千石}	三五七 _四
精 麦	一〇 疋	二八八・九二	九一五	三三九
小 麦	一〇 疋	一九〇・六二	三、一〇〇	三五七
甘 藷	一〇 貫	三三七・二八	一、八六〇	二七〇
豆類、とうもろこし粉等	一〇 疋	二七四・六九	一、九八五	三三九 二八六

(備考)

(一) 上記の計算に際しては次のものを織りこんでいる。

(1) 一九四八年七月プールによる差益額 四六八、〇四二、九〇〇^円 (十)

(2) 二三年産米早喰負担轉嫁額 二、三四五、八六五、六〇〇 (一)

(3) 二三年産早喰甘諸負担轉嫁額 五八七、〇七四、六六七 (〃)

(4) 澱粉負担轉嫁額 七三二、七〇四、〇〇〇 (〃)

(5) 加工諸額負担轉嫁額 五五九、三六〇、〇〇〇 (〃)

(1) — (5) 計 三、七五六、九六一、三六七 (〃)

(二) 主食相互間の價格比を精米一〇〇、精麦九五、小麦粉一〇〇、そば豆七〇その他の豆類九五、とうもろこし粉八〇とし、甘諸は現行價格一〇貫当二七〇円据置としてプール計算を行つた。

精米の消費者價格算出表(プールする前の價格)

項 目	玄米六〇班当	備 考
生産者價格	一六三二、七五 ^円	生産者價格(裸一四三八円、包裝代三四円)等級間格差
		(二四円五〇銭)及び超過供出増加分(一四五円二五銭五
		%を見込む)

%を見込む)

政府經費

直接經費

一一六、三三

集荷人手數料、特別指定倉庫加算額、倉庫保管料、運送

費、金利等

間接經費

三八、九九

食糧管理局、人件費、事務費等

小計

一五五、三二

獎勵金

六三、五五

昭和二十二年度早場早堀獎勵金殘及び昭和二十三年度早

場米獎勵金

調整金

二一、五四

昭和二十二年產米の最終價格差額追加支拂分

配給經費

一四三、七六

食糧配給公團マージン

合計

二、〇一五、九二

精米一〇疋當り

三五五、二九

玄米六〇疋よりの精米出來高 五六、七四疋

二、麦 額

項目 大

(四五疋) 麦

(五二・五疋) 麦

(六〇疋) 麦

裸麦及小麦

備

考

生産者價格

七〇・四・四五

八一七・六六

一、〇七三・八六

生産者價格、等級間格差及び超過供出買入増加分

政府經費

特別指定倉庫加算額

直接經費

一五三・〇三

一五七・三四

一六四・九五

集荷業者手数料、政府運送費、保管料、麻袋經費及び金利等

間接經費

二二・六六

二六・四四

三五・〇九

食管人件費及事務費

小計

一七五・六九

一八三・七八

二〇〇・〇四

獎勵金

五・七八

六・七四

八・九五

昭和二十二年早場早堀獎勵金殘

合計

一八一・四七

一九〇・五二

二〇八・九九

精麥

製品五〇疋当原料代

一、二二一・九六

政府事業費

九二・五六

配給經費

一三〇・〇六

計

一、四四四・五八

精麥一〇疋当り

二八八・九二

小麥粉

製品三二疋当原料代

五二〇・三三

政府事業費

五五・〇五

配給經費

六三・九八

計

六三九・三六

小麥粉一〇疋当

二九〇・六二

歩留七七・五%及九〇%

精麥加工賃政府運送賃等

食糧公團マージン

加重平均歩留九〇四%

製粉加工賃、政府運送賃等

食糧公團マージン